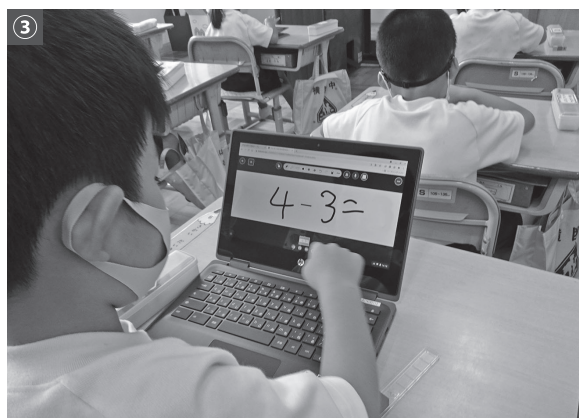
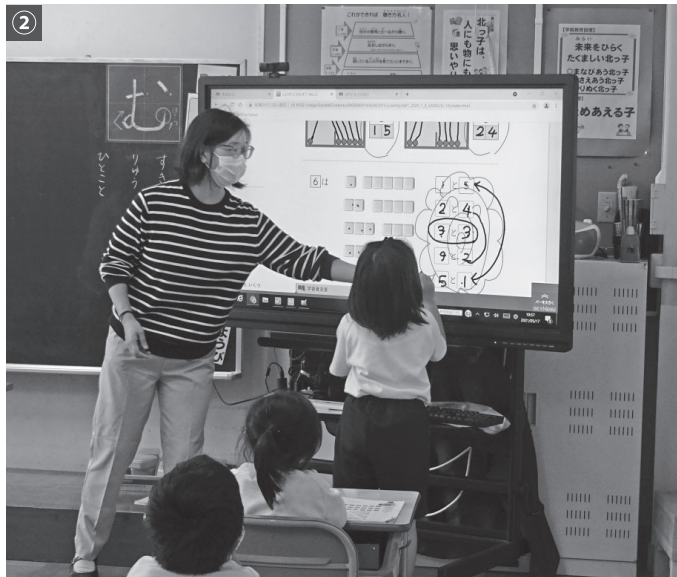
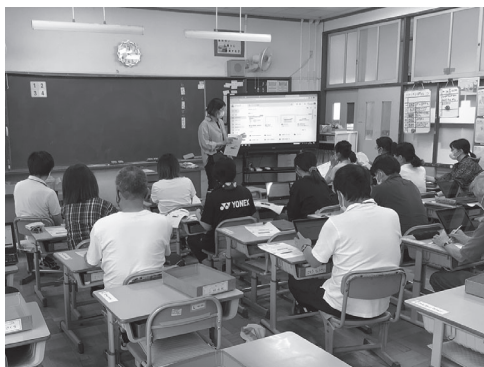


# GIGAのある学校生活



- ① 植物を観察し、成長の様子を記録しています。
- ② 電子黒板に自分の考えを映しながら、友達に分かりやすく説明しています。
- ③ クロームブックなら、簡単に消したり書いたりできます。
- ④⑤ 薬学講座もリモートで行われました。
- ⑥ 教室内で写真や動画を撮影できます。
- ⑦ 市内小学校間での交流会を開催しました。



先生たちも、ICT機器やアプリの操作、授業での効果的な活用方法について勉強中です。



▲市 HP



▲各学校 HP へのリンク

※市のGIGAスクールの取り組みは、市や各学校のHPで詳しく公開しています。ぜひご覧ください。

また、AI型ドリルソフトを使い、自分の習熟度に合った各教科の問題を解き、何度も復習したり、自分の学習を進めたりしています。

さらに、災害時や休校時には端末を持ち帰り、学校と自宅をつなぎ、端末を通じて課題を受け取ったり、先生や友達とコミュニケーションを取ったりすることができます。



音楽の授業で、メロディーを何回も聴いて歌い方を研究しています。

令和時代の教育スタイル

## 伊豆の国市 GIGA スクール構想

☎ 学校教育課 ☎ 055-948-1444

GIGA(Global & Innovation Gateway for All) とは、「すべての人に世界のさまざまな技術革新を利用できるようにすること」です。GIGA スクール構想は、デジタル社会を生きていく上で、ICT 機器を活用して自ら課題を考えて対応できる思考力、判断力、表現力などを身に付けていくねらいがあります。

こんなふうに  
学んでいます

「植物の種子が発芽するために何が必要なのか？自分の予想を書いてみて」。

先生が問いかけると、子どもたちは手元の端末を使って、考えを記入していきます。「書き終わった人は提出箱に提出してね」。先生の一言で、目の前の電子黒板にみんなの考えが即時に示されていきます。早く書き終わった子どもは、自分の端末を操作しながら友達のことを確認しています。

このように市内の小中学校では、電子黒板や、クロームブックと呼ばれる端末を、授業やコロナ禍における新しい学校行事などで活用しています。

電子黒板は、パソコンの画像をそのまま画面に映し出して拡大して見ることができたり、映したグラフや写真に直接文字を書き込んだりすることもできます。授業の予定を電子黒板に表示している学級もあります。子どもたち自身が試行錯誤して考えを深め、積極的に意見が交わされるため、これまで以上に子どもたちが友達と協力し合い、お互いの意見から多くを学ぶことができます。